

**目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち**

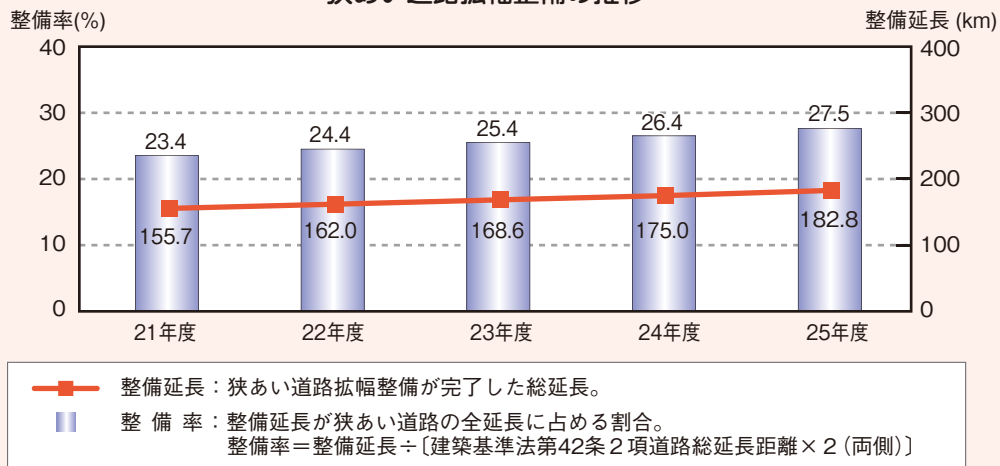
**施策  
4**

**利便性の高い快適な都市基盤の整備**

**現状と課題**

- 踏切による交通渋滞や事故、地域分断の解消を図るとともに、地域の安全性や利便性の更なる向上のため、地域住民との協働による沿線のまちづくりを進めていく必要があります。
- 防災や区民生活の安全性の確保の観点から生活道路網の体系的な整備が求められる中、いまだ多くの狭あい道路が存在する状況です。首都直下地震などの大規模災害の発生が危惧される状況において、これまでの取組に加え、建物や塀が下がっていても道路が広がっていない箇所においても着実な拡幅整備を行い、事業を積極的に推進していく必要があります。
- 区立施設や駅施設のバリアフリー<sup>\*1</sup>化に取り組んできましたが、バリアフリー化の必要性が高い地域が依然として存在します。「バリアフリー基本構想」で定める重点整備地区を中心に、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催も視野に入れた施設のバリアフリー化やユニバーサルデザイン<sup>\*2</sup>の整備を一層推進する必要があります。
- 区が運行する南北バスは、年間で多くの方に利用されており、交通不便地域の解消の一助となっています。今後も幹線道路の整備等に合わせて公共交通の充実を図るとともに、高齢化等に対応した誰もが利用しやすい公共交通の整備について検討していく必要があります。

**狭あい道路拡幅整備の推移**



**計画最終年度(33年度)の目標**

- 道路と鉄道の立体交差化により、踏切による交通渋滞や事故、鉄道による地域分断が解消されるなど、地域の安全性や利便性が向上するとともに、地域コミュニティの活性化が進んでいます。
- 体系的な道路網の整備により、自動車交通の円滑化、歩行者の安全性や快適性が確保されています。また、狭あい道路の拡幅と電柱のセットバック<sup>\*3</sup>が進み、防災性の向上と円滑な通行の確保が進んでいます。
- 施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの整備により、誰もが暮らしやすく、快適で魅力あふれるまちになっています。

<sup>\*1</sup> バリアフリー…障害者や高齢者等にとっての障害を解消すること。施設などの物理的な障害にとどまらず、心のバリアフリー、情報バリアフリー等、高齢者や障害者を取り巻く生活全般に関連するものを含む考え方  
<sup>\*2</sup> ユニバーサルデザイン…年齢・性別・能力・国籍等の違いにかかわらず、すべての人が使いやすいように建築物、製品、環境及び制度やサービスなどをあらかじめデザインすること  
<sup>\*3</sup> 電柱のセットバック…狭あい道路の拡幅整備に伴い、既存の電柱を移設し、防災性の向上と円滑な通行を確保すること

## 施策指標の推移(実績)と目標

指標名	これまでの実績			目標値 ※B	目標値 ※C	指標の説明・計算式
	H24	H25	H26(目標) ※A	H29	H33	
区内での定住意向	84.5%	87.7%	87%	88.5%	90%	区民意向調査による
都市計画道路※4(区道)完成延長	6,642m	7,022m	7,022m	7,022m	8,052m	区内都市計画道路のうち整備完了した区道延長

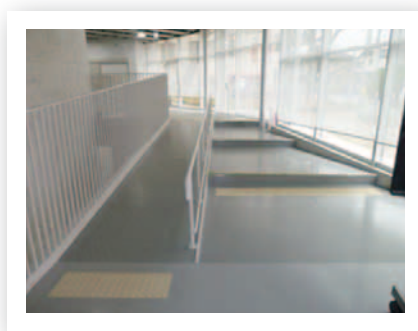
※A…改定前の『実行計画(平成24～26年度)』における目標値。今回、新たに設定した指標は「ー」で表示

※B…『実行計画(平成27～29年度)』最終年度の目標値

※C…『総合計画』最終年度の目標値

## 目標を実現するための主な取組

- 鉄道連続立体交差の促進 **重点**
  - ・安全で利便性の高いまちづくりに向け、鉄道の連続立体交差事業※5推進に取り組むとともに、住民と協働して沿線のまちづくりを進めます。
- 狭あい道路拡幅整備事業と電柱セットバックの推進 **重点**
  - ・狭あい道路を拡幅整備して防災性の向上と円滑な通行の確保を推進するとともに、区民や事業者の協力を得ながら電柱のセットバックを進め、安全で快適なまちづくりを進めます。
- ユニバーサルデザインのまちづくり推進 **重点**
  - ・「杉並区バリアフリー基本構想」で定めた「重点整備地区」をはじめとした、区全体のバリアフリー化やユニバーサルデザインによる整備を実施し、誰もがどこでも自由に暮らしやすいまちづくりを進めます。
- 新たな地域交通の整備・促進
  - ・地域交通の利便性向上について調査・研究を行い、新たな地域交通の整備を進めていきます。また、関連区と協力して、環状8号線を基本ルートとする区部周辺部環状鉄道(エイトライナー※6)の早期実現を目指します。



階段と併設されたスロープ(大宮前体育館)

※4 都市計画道路…都市の基盤的施設として計画的な整備を目指し、都市計画法による都市計画決定を受けた道路

※5 鉄道の連続立体交差事業…市街地において道路と交差している鉄道を一定区間連続して高架化又は地下化することで立体化を行い、多数の踏切の除却や新設交差道路との立体交差を一挙に実現する都市計画事業

※6 エイトライナー…環状八号線を基本的な導入空間として、羽田空港から赤羽線までの44.6kmを結ぶ新しい環状鉄道

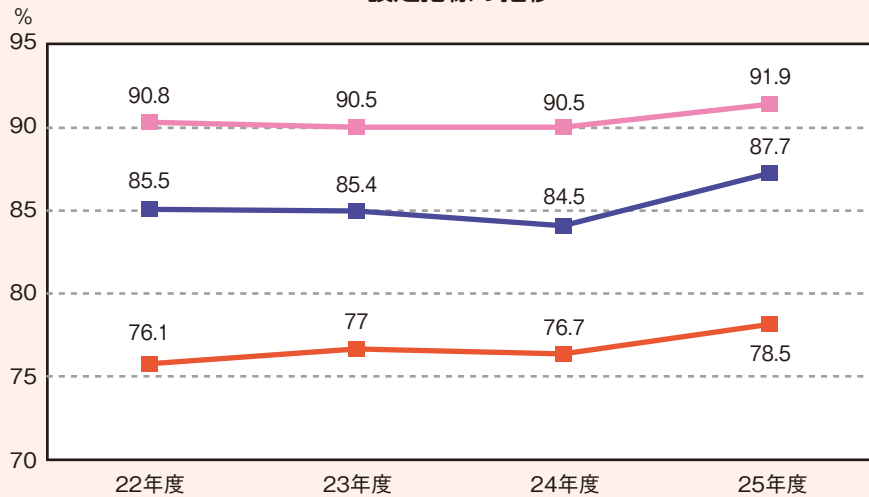
**目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち**

**施策5 良好な住環境の整備**

**現状と課題**

- 良好な住環境の保全・形成のため、防災機能の向上、住宅セーフティネット\*1の再構築、住環境の整備を柱として様々な事業の実施が求められています。
- 住宅を中心とした市街地の特色を守り発展させながら、地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成を図っていく上で、地域地区\*2、地区計画\*3などまちづくりに関する諸制度の活用と適正な運用が求められています。
- 区民や地域団体等の自発的な活動による「まちづくりルール」の作成などに対して、様々な支援策が求められています。

設定指標の推移



■ 区内での定住意向    ■ 住環境に満足する区民の割合    ■ 杉並区のまちを美しいと思う割合

出典：区民意向調査

**計画最終年度(33年度)の目標**

- 地域特性に応じた良好な住環境の保全・形成が進み、質の高い住宅都市、「住み続けたいまち、住んでみたいまち」杉並として幅広く認識されています。また、歴史・文化、自然などの価値ある場所がネットワーク化され、まちの魅力・価値が高まっています。
- 区民が良質な住宅と良好な住環境の中で、ゆとりある住生活が送れるようになっています。
- まちづくりに関する諸制度の的確な運用により、良好な市街地形成が進んでいます。

\*1 住宅セーフティネット…セーフティネットとは「安全網」のこと。住宅におけるセーフティネットとは、自力で住宅を確保できない方の健康で文化的な生活を営むに足りる住宅の確保に対し、行政が関与・支援する体制を整備すること  
 \*2 地域地区…都市計画区域内の土地について、適正な利用や保全を図ることを目的に、都市計画法に定められた、用途地域などの地域又は地区  
 \*3 地区計画…地区の住民が利用する道路・公園や、建築物に対する規制などを総合的な計画として定め、その地区の特性にふさわしい、より良いまちづくりを誘導する制度

## 施策指標の推移(実績)と目標

指標名	これまでの実績			目標値 ※B	目標値 ※C	指標の説明・計算式
	H24	H25	H26(目標) ※A	H29	H33	
住環境に満足する 区民の割合	90.5%	91.9%	92%	93%	95%	区民意向調査による
最低居住面積水準※4未満 の住宅に住む世帯の割合	21.9%	21.9%	17%	12%	5%	住宅・土地統計調査による

※A…改定前の『実行計画(平成24～26年度)』における目標値。今回、新たに設定した指標は「ー」で表示

※B…『実行計画(平成27～29年度)』最終年度の目標値

※C…『総合計画』最終年度の目標値

## 目標を実現するための主な取組

### ○ 住宅施策の総合的な推進 **重点**

- ・平成25年度に行った「杉並区住宅マスタープラン」の見直しを踏まえ、区営住宅の住環境整備などを計画的に推進するとともに、空き家の利活用なども視野に入れ、高齢者・障害者等を含めた総合的な住まいの確保策について検討、実施します。

### ○ まちづくり活動の支援

- ・まちづくりを計画的かつ効果的に推進するため、区民や地域団体等の自発的なまちづくり活動への支援を進めていきます。



※4 最低居住面積水準…住生活基本計画の中で定めている、健康で文化的な住生活の基礎として必要不可欠な住戸の面積に関する水準

**目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち**

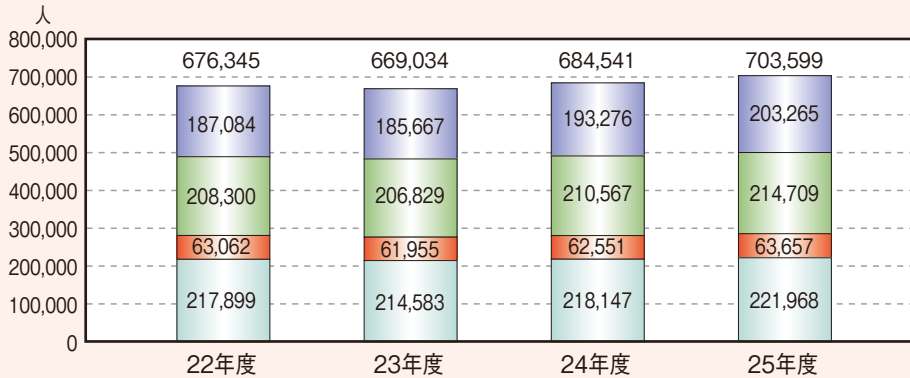
**施策  
6**

**魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり**

**現状と課題**

- 杉並区が住宅都市としての価値を更に高めていくためには、駅周辺を中心とした、魅力的でにぎわいのあるまちづくりが重要です。特に、区内最大の交通結節拠点である荻窪駅周辺地区は、その潜在能力を十分に活かした整備を行い、商業の活性化や生活利便性などの都市機能を高めていくことが求められています。
- 区内全体では、交通拠点である駅周辺を核とし、それぞれの地域特性を活かした、にぎわいや魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。
- みどり豊かな美しい住宅都市杉並を将来に継承し、魅力あるまちなみを創出するためには、まちの景観に対する区民の意識を高め、自主的に景観づくりに取り組む風土を醸成していくことが求められています。
- 東京都への観光客数が増加している一方、その多くは都心部に集中し、杉並区の集客にはつながっていない現状があります。区の地域資源を集約した都心部にはない魅力のPR、アニメの活用、杉並ナンバーの普及等により、杉並の知名度と区外からの集客力を高め、にぎわいや商機の創出につなげていく必要があります。

区内鉄道駅1日平均乗降客数推移(沿線別)



■ 東京メトロ丸ノ内線
 ■ 京王線・井の頭線
 ■ 西武新宿線
 ■ JR中央線

(注)JR 中央線は乗車人員

出典：各鉄道会社

**計画最終年度(33年度)の目標**

- 荻窪駅周辺では、商業機能や生活利便施設の集積及び利便性の高い都市空間の形成など、「都市再生まちづくり」が着実に進んでいます。
- 駅を中心に区内各地域の特性を活かした魅力のあるまちづくりが進み、多くの人々が訪れたいようになるのにぎわいと活力が生まれています。
- まちなみ景観の視点から考えるまちづくり活動など区民一人ひとりの主体的な取組が進み、美しいまちなみづくりを支えています。
- 「杉並」の知名度の高まりとともに、杉並の「良さ」、「らしさ」が区外にも周知され、持続的に集客力が高まり、にぎわいの創出につながっています。



## 施策指標の推移(実績)と目標

指標名	これまでの実績			目標値 ※B	目標値 ※C	指標の説明・計算式
	H24	H25	H26(目標) ※A	H29	H33	
住環境に満足する区民の割合	90.5%	91.9%	92%	93%	95%	区民意向調査による
杉並区のまちを美しいと思う人の割合	76.7%	78.5%	80%	82%	85%	区民意向調査による
区内全駅の1日平均乗降人員	684,541人	703,599人	—	731,000人	759,000人	各鉄道会社の公表による (JR4駅は乗車人員、他の駅は乗降人員の平均)
「すぎなみ学倶楽部※1」のアクセス数	496,397件	583,034件	—	630,000件	670,000件	

※A…改定前の『実行計画(平成24～26年度)』における目標値。今回、新たに設定した指標は「—」で表示

※B…『実行計画(平成27～29年度)』最終年度の目標値

※C…『総合計画』最終年度の目標値

## 目標を実現するための主な取組

### ○ 荻窪駅周辺都市再生事業※2の推進 **重点**

- ・荻窪駅周辺について、地域住民との連携・協力により、まちの将来構想を描くとともに、その実現に向けた取組を進めます。また、南北分断の解消と都市機能の更なる強化に向けて幅広い視点から検討を進め、国や都、鉄道事業者等と協議・調整を行いながら、「都市再生まちづくり」を進めます。

### ○ 多心型まちづくりの推進 **重点**

- ・交通拠点である駅を中心に、地域特性を活かした商業・業務の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわいと多彩な魅力ある「多心型まちづくり」を進めます。
- ・駅周辺まちづくりの推進に当たっては、施設整備・基盤整備などのハード施策と、商業振興や地域コミュニティ活動活性化などのソフト施策との連携を図り、地域資源を活かした総合的なまちづくりを進めます。

### ○ 杉並らしさを活かした観光事業の推進 **重点**

- ・中央線沿線をはじめ区内各所に多数存在する行事、芸能、食文化などの多様なコンテンツ※3を「杉並らしさ」という視点から集約・再構築し、様々なメディアを活用して効果的に発信していきます。
- ・杉並芸術会館(座・高円寺)の地域活性化事例を踏まえ、阿佐ヶ谷駅周辺等のまちづくりと連携して地域のにぎわいや交流創出の視点を取り入れた検討を進めるとともに、西荻窪駅周辺のにぎわい創出と区内の観光情報発信のための拠点整備について検討・実施します。また、杉並ナンバー※4の普及を促進し、杉並の知名度を高めます。

### ○ アニメの振興とにぎわいの創出

- ・区内アニメ制作会社のアニメコンテンツ※5や区公式アニメキャラクターの「なみすけ」等を活用し、商店街や地域等の活性化を図ります。また、杉並アニメーションミュージアムの事業を、民間企業やNPO等の取組と連携させ、まちのにぎわい創出につなげます。

※1 すぎなみ学倶楽部…杉並区の様々な分野の魅力を発信する区公式ウェブサイトで、主に区民ライターによって取材・執筆が行われている

※2 荻窪駅周辺都市再生事業…区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺のまちづくりに取り組み、魅力を高め、杉並全体を牽引していくことで、住宅都市としての発展を目指していく事業

※3 コンテンツ…内容、中身のこと。一般的には、インターネット等で閲覧できる文章や画像、音楽など、中身となるひとまとまりの情報、又はそれらの組み合わせを意味することが多い

※4 杉並ナンバー…自動車のナンバープレートに地域名を表示する、いわゆる「ご当地ナンバー」で、平成26年11月17日から交付が開始された「杉並」のナンバーのこと

※5 アニメコンテンツ…アニメ作品自体であるほか、キャラクターやストーリー、主題歌など、アニメを構成する映像や画像、音楽、文章、あるいはそれらの組み合わせのこと

**目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち**

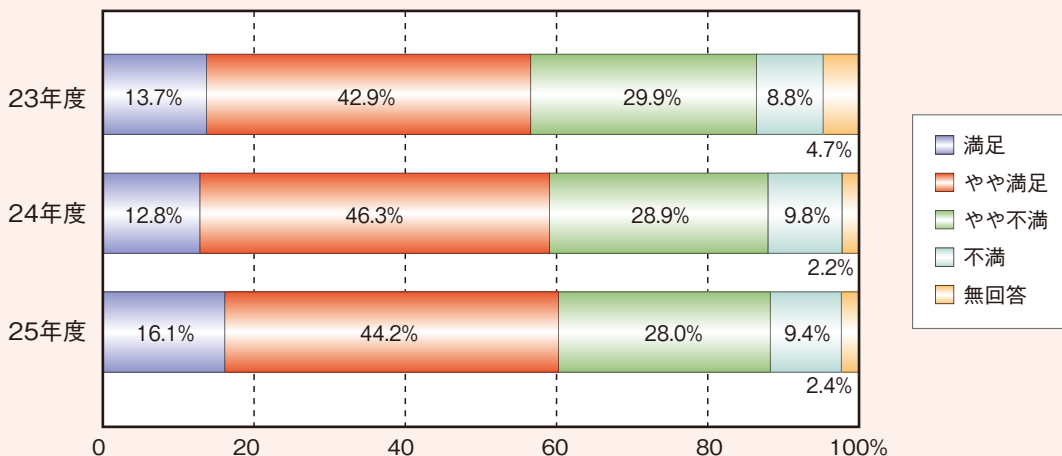
**施策  
7**

**地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興**

**現状と課題**

- 将来を見据えた産業の振興を図るために、産業振興基本条例や産業振興計画に基づき、区と区内産業経済団体等との日常的な連携や、地域経済の活性化に向けた計画的な取組が求められています。
- 経済環境や雇用環境は回復の兆しが見えつつあるものの、現状では中小企業にまでその効果が波及しているとはいえません。このため、引き続き中小企業への支援や意欲ある現役世代等への就労対策が求められています。
- チェーン店の増加などに伴い、個々の商店街の個性や特徴が見えにくくなっています。地域の特性を踏まえ、その資源を活用していくことなどにより、魅力ある商店街づくりを進めていく必要があります。
- 区内の農地・農業者は、高齢化による後継者不足、相続税負担に伴う農地売却などにより減少しており、実効性の高い都市型農業※1支援策を講じる必要があります。

商店街の満足度の推移



出典：区民意向調査

**計画最終年度(33年度)の目標**

- 区と区内産業経済団体等が一体となって様々な産業振興策を実施し、区内経済が着実に活性化してきています。
- 就労支援や創業支援等の取組により、多くの意欲ある現役世代等の就職が叶うとともに、創業が進んでいます。
- 区内農業者等による地産地消の取組が行われ、学校給食へ農産物が提供されるなど、都市型農業の持つ多面性が活かされるようになってきています。

※1 都市型農業…市街地及びその周辺の地域において、消費地に近い利点を生かして営まれる農業。農産物の供給に加え、防災面や緑地保全などの多面的機能を併せ持っている

## 施策指標の推移(実績)と目標

指標名	これまでの実績			目標値 ※B	目標値 ※C	指標の説明・計算式
	H24	H25	H26(目標) ※A	H29	H33	
就労支援センターの利用により、就職が決定した人数	109人 (12/3~)	年606人	—	年600人以上	年600人以上	就労準備相談及びハローワークコーナーを利用し、就職が決定した人数
創業支援による創業者数	—	—	—	年45件	年45件	区が実施する特定創業支援事業を利用し、区内で創業した事業者数
商店街への満足度	59.1%	60.3%	60%	62%	65%	区民意向調査による
区内農業産出額	340 (百万円) (22年分)	330 (百万円) (23年分)	—	350 (百万円) (27年分)	370 (百万円) (31年分)	東京都農産物生産状況調査による

※A…改定前の『実行計画(平成24~26年度)』における目標値。今回、新たに設定した指標は「—」で表示

※B…『実行計画(平成27~29年度)』最終年度の目標値

※C…『総合計画』最終年度の目標値

## 目標を実現するための主な取組

- **地域特性を活かした商店街活性化促進** **重点**
  - ・区内各地域の特性を踏まえた商店街の支援を行い、区民の日常生活の利便性を向上させるとともに、地域の活性化につなげます。
- **都市型農業の支援** **重点**
  - ・区の貴重な財産である農地の保全に結びつくよう、農業者への経営支援、農とのふれあいの場の創出、地産地消の推進など、幅広い視点から都市型農業を支援します。
- **中小企業支援**
  - ・地域経済の状況を見据え、安定的な経営を目指す中小企業者の経営基盤の強化や新たな事業展開を支援していきます。
- **若者等の就労支援**
  - ・就労意欲がありながら雇用機会に恵まれない若者等の就労支援を行います。



商店会を中心としたイベント(西荻おわら風の舞)